

業績推移 (単体情報)

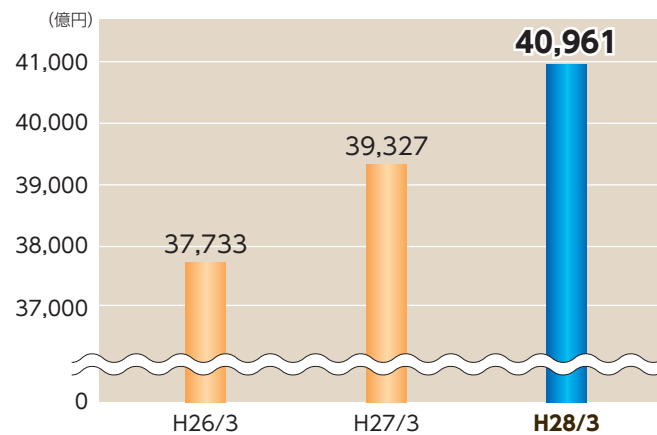
業績ハイライト

平成28年3月期の業績につきましては、預金および貸出金の残高は引き続き順調に増加いたしました。
また、収益面では、経常利益は239億31百万円、当期純利益は155億32百万円となりました。
なお、当期純利益は過去最高となりました。

| 預金残高

4兆961億円
(年間増加率4.1%)

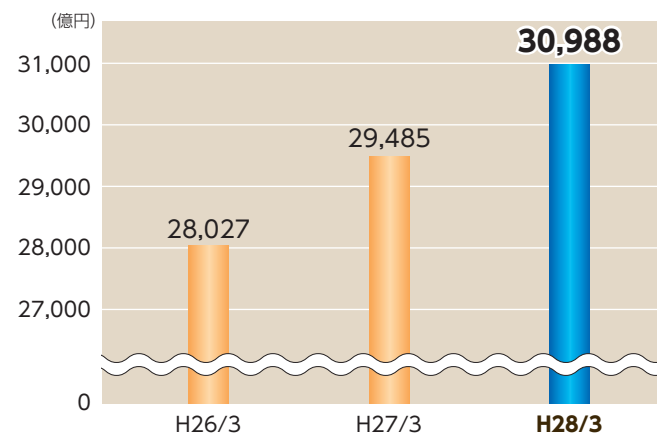
給与振込や年金振込口座の取引拡大に努めた結果、個人預金を中心に、前期比1,634億円増加し4兆961億円(年間増加率4.1%)となりました。



| 貸出金残高

3兆988億円
(年間増加率5.0%)

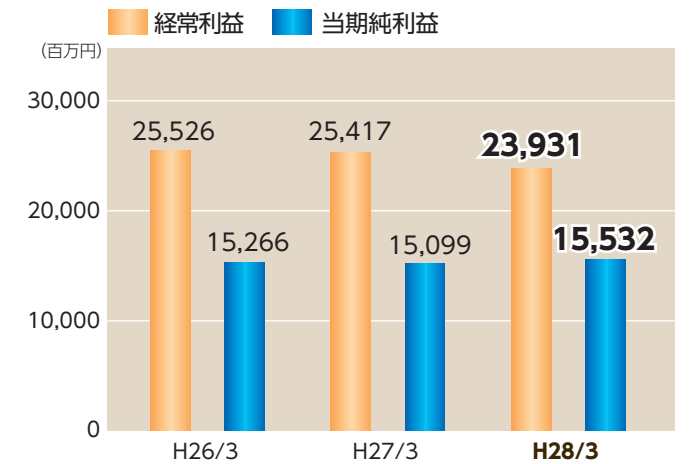
住宅ローンを中心とする個人向けや、中小企業向けの貸出推進に積極的に取り組んだ結果、前期比1,502億円増加し3兆988億円(年間増加率5.0%)となりました。



| 経常利益・当期純利益

経常利益 **239億円**
当期純利益 **155億円**

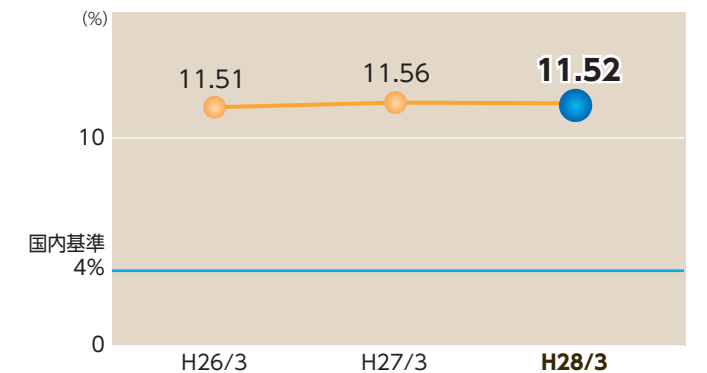
経常利益は前期比14億85百万円減少し239億31百万円、当期純利益は前期比4億32百万円増加し155億32百万円と過去最高となりました。



| 自己資本比率

11.52%

資本効率の向上を図るため、平成27年7月に自己株式1,000万株(取得価額61億20百万円)を取得したこと等により、前期比0.04ポイント低下し11.52%となりましたが、依然高い水準を保っております。

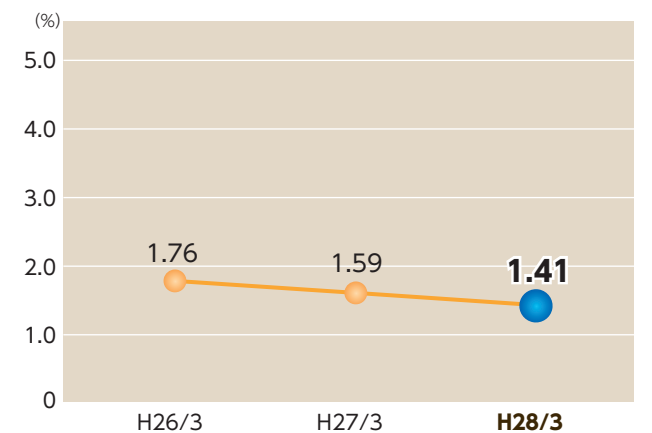


| 不良債権比率 (金融再生法基準)

1.41%

お客さまの経営課題に対して経営改善支援等のコンサルティング機能の発揮に努めた結果、金融再生法基準の不良債権比率は前期比0.18ポイント低下し1.41%となり、資産の高い健全性を示しております。

※不良債権比率は、数値が小さいほど健全性が高いことを示しています。

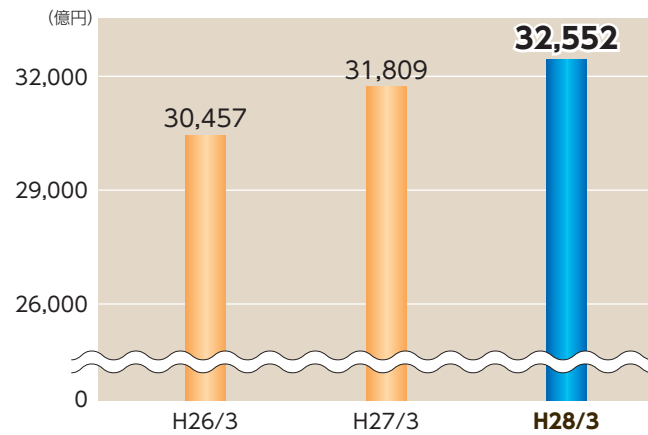


業績推移 (単体情報)

| 個人預金残高

3兆2,552億円

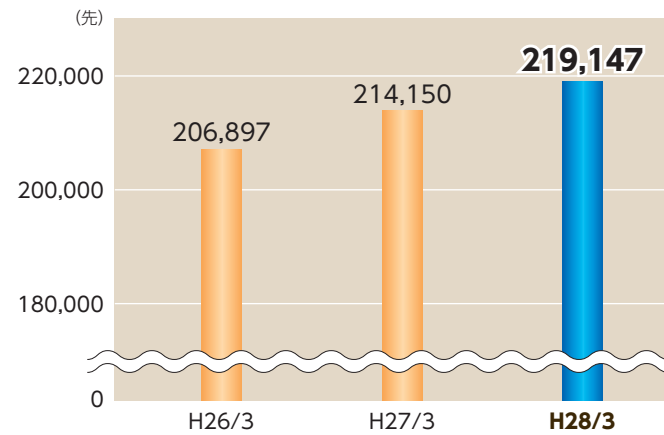
年金受取指定先数や給与振込指定先数が順調に増加したこと等により、個人預金残高は前期比742億円増加し3兆2,552億円(年間増加率2.3%)となりました。



| 年金受取指定先数

21万先

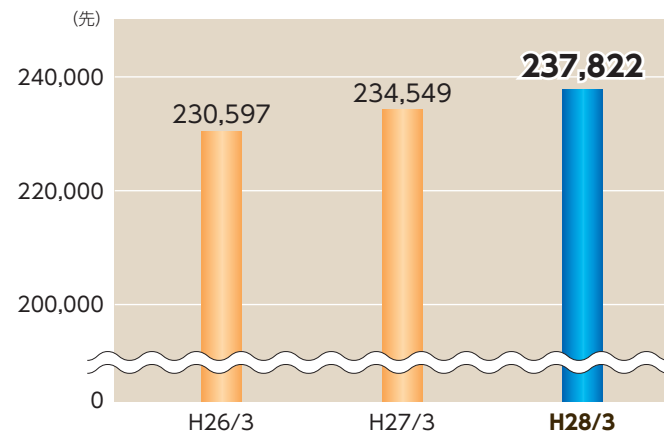
社会保険労務士による個別年金相談会や年金セミナーを開催し、複雑な年金制度の説明や年金請求書作成等のサービスなどが、ご好評をいただいています。年金受取指定先数は年間で4,997先増加(年間増加率2.3%)しました。



| 給与振込指定先数

23万先

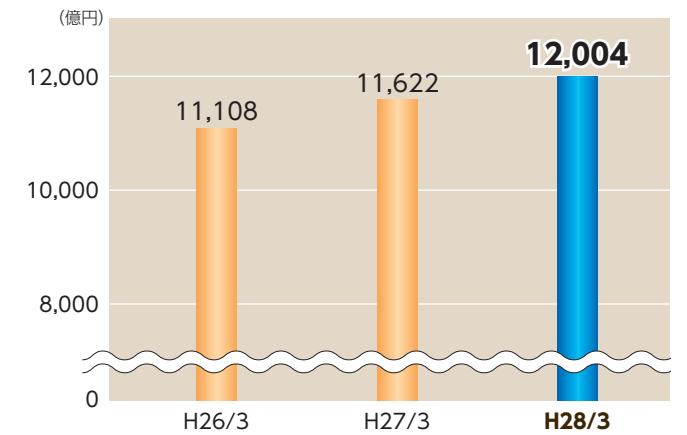
住宅ローンをご利用のお客さまを中心に給与振込のご指定をいただいています。また、若い世代の方々に向けた給与振込のキャンペーンも実施しています。給与振込指定先数は年間で3,273先増加(年間増加率1.3%)しました。



| 中小企業向け貸出金残高

1兆2,004億円

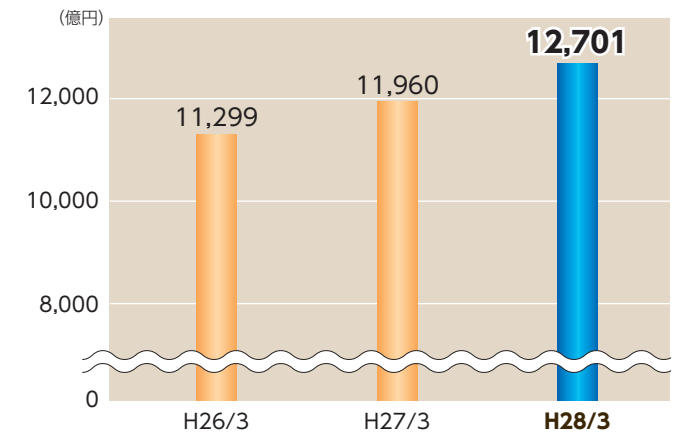
成長分野を中心に中小企業のお客さまへの貸出に積極的に取り組んだ結果、中小企業向け貸出金残高は前期比382億円増加し1兆2,004億円(年間増加率3.2%)となりました。



| 住宅ローン残高

1兆2,701億円

新商品「くらしの安心パッケージ」の取り扱いを開始するなど、お客さまの住宅資金ニーズに積極的にお応えした結果、住宅ローン残高は前期比740億円増加し1兆2,701億円(年間増加率6.1%)となりました。



| その他ローン^(※)残高

377億円

お客さまのニーズに応じた幅広い商品ラインナップを取り揃えたほか、お申し込みチャネルの利便性を高めた結果、その他ローン残高は前期比52億円増加し377億円(年間増加率16.2%)となりました。

※住宅ローンを除く消費者ローン

